

《平常展》 仏教の思想と文化

インドから 日本へ



《第Ⅰ期》2014.6.24(火) — 8.3(日)

《第Ⅱ期》2014.8.12(火) — 9.15(月)

開館時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（ただし7月21日、9月15日は開館、7月22日休館）



龍谷大学

龍谷ミュージアム

RYUKOKU MUSEUM

〔背景〕摩訶般若波羅蜜經 卷第二十四
（龍谷大学大蔵書）
〔中・上〕十王図（京都・永観堂・禅林寺）部カ
〔右〕ストワツコ仏頭部（龍谷ミュージアム）
〔左〕木造阿彌陀如来立像（兵庫・西方寺）

《平常展》仏教の思想と文化 インドから日本へ

◆ 展示構成

第1部 アジアの仏教

インドで仏教が誕生し、アジア全域に広まる

- ・仏教誕生…釈尊（ガウタマ・ブッダ）の生涯とその教え
- ・仏教の広がり…インド、中央アジア、東南アジア、東アジア
- ・多様な仏教…出家修行者と在家信者が織りなす多様な仏教世界

- 1 朱地連珠鳥形文錦と白地連珠罽羊文錦（第Ⅱ期）
アスターナ（トルファン）出土 7世紀 龍谷大学大宮図書館
- 2 仏坐像（第Ⅰ・Ⅱ期）
サルナート出土
6～7世紀 龍谷大学大宮図書館
- 3 菩薩立像（第Ⅰ・Ⅱ期）
ガンダーラ出土 2～3世紀
龍谷ミュージアム



1



2



3

第1部特集展示

大谷探検隊の軌跡

本年2014年は、大谷探検隊のシルクロード調査が終結して100周年に当たります。大谷探検隊とは、のちに浄土真宗本願寺派（西本願寺）第22世の宗主となる大谷光瑞師が、仏教伝播の道を調査すべく1902年に組織した学術調査隊です。龍谷ミュージアムでは、本年を「大谷探検隊イヤー」と位置づけ、1年間を通して彼らの活動に焦点を当てています。平常展の第1期および第Ⅱ期では、第1次探検隊によるインド仏教遺跡の調査に関連した将来品や探検隊が撮影した写真を紹介するほか、第3次探検隊が行ったトルファンの古墳調査によって出土した副葬品の一部もあわせて展示します。仏教研究だけにとどまらない、彼らの広範な活動内容をぜひご覧ください。

第2部 日本の仏教

日本へ仏教が伝来し、社会に根付く

- ・仏教伝来…仏教伝来にかかわる史実と、伝承上の仏教伝来
- ・国家と仏教…国家政策としての仏教導入と貴族社会への浸透
- ・仏教文化の円熟と日本の展開…日本国内での仏教の歩みの上に新たに醸成され、幅広い階層に受け入れられていった仏教の諸相

- 1 木造 帝釈天像（第Ⅰ・Ⅱ期）
平安時代前期 奈良・唐招提寺
- 2 慈恵大師像（第Ⅰ期）
鎌倉時代 奈良・薬師寺
- 3 十王図（第Ⅱ期）
江戸時代 京都・永観堂禅林寺



1



2



3

第2部特集展示

「日本の神とほとけ」

2014年6月24日（火）－8月3日（日）

仏教は広まった先々の土地で、在来の信仰と共存してきました。日本由来の神々も、護法神や、ほとけと表裏一体の関係をなす垂迹神として、仏教世界の中に取り込まれていったのです。明治政府によって神とほとけを分離する政策が取られる以前の様相を、彫刻や絵画、経典などから紹介します。

「来世の造形」

2014年8月12日（火）－9月15日（月・祝）

仏教では、人がこの世での生を終えた後も、別のかたちで生まれ変わりを繰り返すと考えました。日本文化の中に大きな足跡を残した地獄や極楽の有様、阿弥陀如来の来迎や閻魔大王の裁きなどのイメージを、絵画や彫刻などから紹介します。

平常展観覧料（税込）

一般	500円（400円）
シニア・大学生	400円（300円）
高校生	300円（200円）

※（ ）は20名以上の団体料金

※シニアは65歳以上

※中学生以下、身体障がい者手帳等の交付を受けている方およびその介護者1名は無料

交通案内 ● JR・近鉄・地下鉄烏丸線「京都」駅から徒歩約12分
● 地下鉄烏丸線「五条」駅から徒歩約10分
● 京都市バス（9・28・75系統）「西本願寺前」下車約2分



当館には専用の駐車場はございません。
ご来場の際は、バス等の公共交通機関をご利用ください。

※作品保護のため、平常展会期中に展示替えを行います



龍谷大学

龍谷ミュージアム
RYUKOKU MUSEUM

〒600-8399 京都市下京区堀川通正面下（西本願寺前）
TEL: 075-351-2500 FAX: 075-351-2577
E-mail: muse@ad.ryukoku.ac.jp